

教えて!ドクター Q&A

※質問内容は、ばど読者アンケートより抜粋

「最近、なんとなく体調が悪い」「いい治療法はない?」

読者の皆さんからお寄せいただいた、
身体に関する不安や検査法の疑問などを一挙解決すべく、
「ご近所ドクター」にインタビューしました!

雨宮先生の経鼻内視鏡検査の流れ



1 診察を行った後、 鼻腔を広げる

まず鼻腔を広げる血管収縮剤をスプレーします。また、胃の中をきれいにする、胃内に泡性粘液除去剤を飲みます。



2 検査室へ移動し、麻酔

鼻腔に麻酔剤を注入し、麻酔が効くまで数分待ちます。この注入器は先生が考案されたものです。



3 スティックを挿入する

麻酔を塗ったスティックを挿入し、さらに鼻腔を拡張。同院では、不快感をなくし確実に検査が行えるよう、スティック挿入後、内視鏡より0.1mm太いスティックを入れるという2工程を踏んでいます。



苦痛なく5分程度で終了!

経鼻内視鏡検査

鼻から内視鏡を挿入し検査を行います。モニターがそばにあるので、自分の目で検査の様子を確認することができ、気になることがあれば、その場で先生に質問をすることも可能。「患者さんにごできるだけ話しかけ、緊張を和らげるようにしています」と雨宮先生。検査のみであれば5分程度、組織採取をする場合でも10分程度で終了します。

経鼻内視鏡検査

の相談

Q 口から挿入する内視鏡検査よりも楽な鼻からの内視鏡検査があると聞きましたか??

(39歳・会社員)

A 経口の内視鏡に比べ、嘔吐感が大幅に軽減できるのが経鼻内視鏡検査です。(天下堂医院 雨宮明文先生)



なぜ苦痛が少ないのですか?

人間の身体は、口の中に異物が入ると吐き気を催す嘔吐反射が起きるため、口から内視鏡を挿入する際、苦痛を感じられる方が多くいらつしやいました。しかし、鼻から入れる経鼻内視鏡では、嘔吐反射がほとんどありません。また当院では、内視鏡挿入時の不快感を和らげるため、鼻への局所麻酔やスティックによる鼻腔拡張を行っています。

メリットとデメリットを教えてください。

食道・胃・十二指腸に加え、鼻咽頭・喉頭の観察も楽な上、検査中に話することもできます。局所麻酔のため眠気を催すことがなく、味覚も30分程度で戻るため、検査後すぐに通常の生活に戻ることができます。ただ、経口と比べ内視鏡が細いため、ポリープの切除などの治療や処置的な行為を行うことはできません。

誰でも受けられるのでしょうか?

当院の場合、小児以外であればどなたでも受けることができます。「内視鏡が入らないのでは?」と考える方もいるかもしれませんが、これまで1200名ほどの検査を行ってきましたが、入らない方は2名でしたので、ほぼ問題ないと思われれます。いずれにせよ、まずは経鼻内視鏡を行っている医療機関に相談されることをおすすめします。

質問に答えてくれた DOCTOR



天下堂医院 雨宮 明文先生

1984年 北里大学卒業
2003年 天下堂医院院長就任
●日本消化器内視鏡学会専門医
●日本消化器外科学会認定医
●日本消化器病学会専門医

☎03-3302-1751

■世田谷区南烏山1-11-15(芦花公園駅前郵便局横入る)
■診療内容/内科、外科、胃腸内科、泌尿器科、アレルギー科、
肛門外科、耳鼻いんこう科、皮膚科、性感染症内科
■診療時間/9:00~12:00、16:00~20:00(検査は要予約)
■休診日/木曜日、日・祝日、土曜日午後

<http://www.tenkadou.jp>

MAPIは 64 ページ

